

日本を戦争できる国にすることをねらった

新憲法制定

議員連盟

自民・民主で新体制



憲法9条守れ！の世論の高まりに危機感

京都選出の議員同盟役員

- ・伊吹文明（顧問・自民）
- ・谷垣禎一（顧問・自民）
- ・上田 稔（顧問・元参院自民）
- ・前原誠司（副会長・民主）

憲法9条守れ！
声をさらに大きく

憲法改悪のねらいは、憲法9条をなくして「日本を戦争できる国にする」ことです。イラク戦争で孤立するアメリカ。世界の流れは、戦争ノーマルです。憲法9条の役割は益々大きくなっています。



- 「新憲法制定議員同盟」総会では、当面の活動方針として
- ①衆参両院の憲法審査会始動へ働きかけを強める。
 - ②民主、公明両党の議員への会員の増強を進める。
 - ③「九条の会」に対抗していくために地方の拠点づくりをすすめるとしています。

憲法9条守れの運動は、全国に大きく広がった。「九条の会」は全国で6千を超えています。新憲法制定議員同盟の方針は、「九条の会」への対抗むき出しのものです。

「九条の会」に対抗
地方の拠点づくりねらう

改憲同盟の新体制発足は、国民世論に真っ向から挑戦し、憲法審査会の始動をねらったものです。

憲法をめぐる国民の世論は明らかです。昨年の参議院選挙で、「戦後レジームからの脱却」をきっかけ憲法改悪を一気に進めようとした安倍自公政権は、歴史的な大敗北を記し、参議院で与野党が逆転しました。このため、衆参両院に設置された憲法調査会も野党の反対でいまだに始動できない状態に追い込まれています。

国民世論は、9条守れ



自民、民主、公明などの改憲派議員でつくる「新憲法制定議員同盟」（会長中曽根康弘）は3月4日、国会内で総会を開催。民主党からは鳩山由紀夫幹事長が顧問、前原誠司副代表が副会長に就き改憲策動を推進する新体制を発足させ、憲法改悪への策動を強めようとしています。